

おうえめ 市議会だより

No. 251
令和2年(2020年)8月5日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

| 主な内容 | |
|--------------------------------|---------|
| 5月招集・6月定例議会のあらまし | }...1 |
| 市長提出議案の主な内容 新型コロナウイルス対策に関する | |
| 主な内容 | }...2~5 |
| 一般質問 | |
| 審議された議案と議決結果 特別委員会、全員協議会から | }...6 |
| 9月定例会議会予定 | |

令和2年青梅市議会定例会5月招集議会・6月定例議会

令和2年度一般会計補正予算など 全42議案を原案どおり可決しました。



新型コロナウイルスPCR検査：青梅市医師会が中心となり、青梅市立総合病院敷地内でドライブスルー方式によるPCR検査を実施。市としても本人確認等の事務作業に協力しました。

5月招集議会は、5月15日に行われ、令和2年市議会定例会の会期が令和2年5月15日から令和3年4月30日までの351日間と決定しました。5月招集議会に上程された市長提出議案は、補正予算2件、条例4件、議員提出議案は、条例1件で、いずれも原案どおり可決されました(6面を参照)。また、6月定例議会は、6月8日から24日までの17日間の期間で行われ、初日の本会議では、議案審議の後、一般質問が始まりました。一般質問は、6月8日および9日の2日間にわたって行われ、14人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。

6月定例議会に上程された市長提出議案は、補正予算3件、条例7件、その他25件で、いずれも原案どおり可決されました(6面を参照)。

市長提出議案の 主な内容

- 令和2年度青梅市一般会計補正予算(第1~4号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ15億6640万8千円を追加し、総額66億6640万8千円とする。借入金の借入れの最高額の追加および債務負担行為3件、市債2件を追加しようとするもの。
- 【主な歳入】特別定額給付金支給事業費補助金、新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金、小学校・中学校情報通信設備整備事業債
- 【主な歳出】新型コロナウイルス対策関連経費(2面へ掲載)
- 【債務負担行為の追加】新学校給食センター整備事業支援業務委託、小学校学習用端末機器等貸借、中学校学習用端末機器等貸借
- 【市債の追加】小学校情報通信設備整備事業債、中学校情報通信設備整備事業債
- 令和2年度青梅市病院事業会計補正予算(第1号)
収益的収入および支出の予定額をそれぞれ1億4979万4千円増額し、収入を17億7562万7千円、支出を18億4281万9千円にしようとするもの。
- 青梅市介護保険条例の一部を改正する条例(施行日〓公布の日)
介護保険法施行令の一部改正に伴い、低所得者層の保険料減額賦課にかかる保険料率を改定しようとするもの。
- 青梅市市税条例の一部を改正する条例(施行日〓公布の日ほか)
地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の規定の整備を行うもの。
- 青梅市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例(施行日〓公布の日)
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。
- 青梅市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(施行日〓公布の日)
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。
- 青梅市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準の一部を改正する条例(施行日〓公布の日)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。
- 青梅市有料自転車等駐車場条例の一部を改正する条例(施行日〓令和2年7月1日)
東青梅駅周辺の放置自転車等対策事業として実施していた東青梅駅南口自転車等駐車場にかかる土地の無償貸付けを解除したことに伴い、当該駐車場を市営の有料自転車等駐車場として設置しようとするもの。

議会日誌

| | |
|-----|--|
| 12日 | 議会運営委員会 |
| 15日 | 議会運営委員会 本会議(開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案審議、閉議) 予算決算委員会 福祉文教委員会 総務企画委員会 新型コロナウイルス対策特別委員会 |
| 26日 | 新型コロナウイルス対策特別委員会 |
| 1日 | 議会運営委員会 |
| 8日 | 議会運営委員会 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、一般質問) 本会議(一般質問、委員会議案審査報告、議案審議) |
| 9日 | 本会議(一般質問、委員会議案審査報告、議案審議) |
| 15日 | 予算決算委員会 環境建設委員会 総務企画委員会 福祉文教委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会 全員協議会 |
| 17日 | 新型コロナウイルス対策特別委員会 |
| 24日 | 議会運営委員会 予算決算委員会 本会議(委員会議案審査報告、議案審議、閉議) |

6月定例議会

市議会での対応

感染症の拡大防止と、市が感染症拡大防止に係る対応に専念し、迅速に対応できるようにするため、令和2年5月招集議会および6月定例議会の会期中は、次のとおり対応しました。

■一般質問

質問時間および質問回数を減らし、説明員の出席は最小限にとどめました。

■議場および会議室

会議中は窓を開けて実施しました。議員席の間隔を空けて配置変更を行いました。

■傍聴

本会議および委員会ともなるべく傍聴は控えたいと周知しました。傍聴を希望される方には、マスクの着用およびアルコール消毒をお願いしました。体調のすぐれない方および希望者へ検温を実施しました。傍聴席の前後左右に適度な距離をあけてお座りいただきました。

新型コロナウイルス対策に関する主な内容

新型コロナウイルス対策特別委員会

5月招集議会で、新型コロナウイルス対策特別委員会設置に関する動議を審議し、全員賛成により設置が決められました。

- 委員長 小 山 進
副委員長 結 城 夫
委員 寺 島 和 成
井 上 た かし
ぬ の や 和 代
ひ だ 紀 子
大 勢 待 利 明
湖 城 宣 子
迫 田 晃 樹
天 沼 明

新型コロナウイルス対策関連議案

市長提出議案
■青梅市国民健康保険新型コロナウイルス感染症にかかるとするもの。
■青梅市国民健康保険新型コロナウイルス感染症にかかるとするもの。

■青梅市新型コロナウイルス対策助け合い基金条例

(施行日)公布の日

新型コロナウイルス感染症により、市民生活や地域経済等に多大な影響が生じている状況のなか、皆で助け合いながら困難を克服するため、青梅市における市民生活の支援、地域経済の回復および活性化、医療提供体制の整備その他の感染症への対策を図るために、基金を設置しようとするもの。

■青梅市長等の給与に関する条例の特例に関する条例(施行日)公布の日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、休業要請等によって深刻な影響を被っている市民および市内事業者の状況を踏まえ、市長、副市長および教育長の期末手当の額を減額しようとするもの。
※20%相当額の減額

Table with 2 columns: 支給割合, 特例条例 (100分の186), 条例 (100分の232.5)

議員提出議案

■青梅市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の特例に関する条例(施行日)公布の日

新型コロナウイルス感染症防止対策により、外出自粛や休業要請等によって深刻な影響を被っている、市民ならびに市内事業者の状況を踏まえ、議長、副議長および議員の令和2年6月期の期末手当について、20%減額しようとするもの。

新型コロナウイルス対策関連補正予算

国からの臨時交付金などを活用し、新型コロナウイルス対策関連の施策を実施するための補正予算議案が可決されました。

Table with 3 columns: 経費, 金額, 内容. Lists various budget items like '議会運営経費', '人事管理経費', etc.



新型コロナウイルス感染防止を見据えた災害対応策について問う

湖城 宣子 議員 (公明)

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
(自 民) ... 自民クラブ
(公 明) ... 公明党
(フォーラム) ... 市民フォーラム青梅
(共 産) ... 日本共産党青梅市議団
(国 民) ... 国民民主党
(みどり) ... みどりのオンブズマン
(立 憲) ... 立憲民主党

議員 ①地域防災計画にコロナ対策を加えることを検討しては...
②在宅避難も含めた避難所以の選択肢の周知を伺う。
③ハザードマップ「め組」の周知、今後の利用促進を伺う。
④感染症対策に必要な資器材の備蓄や、避難所以以外の施設の活用、避難所のレイアウト等、コロナ対策を見据えた避難所運営について伺う。
⑤コロナ対策も含めた避難所マニュアルの作成について伺う。
市長 ①有識者等の意見も踏まえ必要な検討を加えていく。
②自宅での安全確保、親戚や友人宅への避難等3密を防ぐ避難行動について広報やホームページ等で改めて周知を図っていく。
③広報や防災ハンドブック等で紹介してきたが、より周知と利用促進に努めていく。
④交付金を活用した備蓄の整備、拡充、車中避難も想定し公共施設の駐車場の開放や自治会館等の活用に努める。世帯ごとの間



休校となった小中学校の就学援助の準要保護認定者に対して休校分の給食費の支給を
議員 ①準要保護認定者数と支給額、休校期間中自宅で昼食をとった日数について伺う。
②特別支援教育就学奨励費認定世帯についてはどうか。
③準要保護認定者や保護者の実態や声を聞いているか。
④休校分の給食費を支給しては、教育長 ①昨年度末の認定者数は小学生651人、中学生414人。今年度は一食、小学校低学年230円、中学校245円、高学年260円、中学校300円である。休校で、自宅で昼食をとったのは50日程度である。
②所得基準が「青梅市就学の援助に関する規則」を満たす方は就学援助で、それ以外は、「青梅市特別支援学級就学奨励費給与要綱」に基づき対応している。
③家計が苦しくなったという声が複数あった。
④休校期間中も含め、支給する。



隔の設定や、症状がある方の動線に分ける等対応していく。
⑤現在、避難所等における感染症対応マニュアルを作成している。必要な対策を避難所運営マニュアルへも反映し、円滑な避難所運営が図られるよう努める。

新型コロナウイルス対策下における防災及び教育行政施策等の展開について問う

結城 守夫議員 (公明)

議員 ①新型コロナウイルス対策のため、災害避難所数の拡大と関係機関との連携は、重要課題である。市長の見解を伺う。
 ②発熱等の症状がある方の専用の「保健避難所」を市役所別棟の議会棟に、設置してはどうか。
 ③防災業務の職員増員策として、会計年度任用職員を活用してはどうか。
 ④後世のため、新型コロナウイルス対策に関する文書の作成、保存等を義務づける公文書管理規則を早急に制定すべきである。
 ⑤市民に、広くマスクの寄付をお願いし、有効活用を図ってはどうか。
 ⑥家計が急変した世帯等への就学援助制度の認定の見直しについて、教育委員会の見解を伺う。

市長 ①公共施設を最大限活用し、医療機関や自主防災組織と一層の連携をしていく。自治会館開放も地域にお願いしていく。
 ②議会棟は、独立した施設構造であり、立地の面からも専用避難所として有力である。議会の意見も伺い、研究していきたい。
 ③会計年度任用職員の防災業務への任用については、今後課題を整理して、研究していきたい。
 ④公文書管理規則を令和3年4月の施行に向け、制定していく。
 ⑤市役所、市民センターに寄付箱を設置し、広報等で周知する。
 ⑥申請期限の延長を行い、所得認定基準の見直しについては前年1年間から直近3カ月に見直し、広報等で周知する。

議員 ①障がい者差別解消条例制定の決定の経緯について伺う。
 ②条例の施行までの課題を伺う。
 市長 ①自立支援協議会から意見を聴取するなどした結果、本市における障害者への理解を深め、差別をなくす取り組みをより一層推進するために、条例を

制定することを決め、本年2月定例議会の施政方針で表明した。②「東京都障害者への理解促進および差別解消の推進に関する条例」を基本としつつ、市の独自性をどのように規定するかを課題とする。障害者団体等の意見を集約し、自立支援協議会の部会で協議していく。来月4月1日の条例施行を予定している。

議員 地域猫制度決定への経緯および実施に至るまでの課題等と今後のスケジュールを伺う。
 市長 本年1月に「青梅市地域

猫活動の手引き(案)を策定し、各自治会からご意見を伺い、おむね理解していただいた。今後、それらの意見を踏まえ、「青梅市地域猫活動の手引き」を取りまとめ、市民に制度の理解を求めていく。7月には、同手引きを広報、自治会回覧等により周知し、10月を目途にモデル地区を選定し、地域猫制度を試行する。その際、市から地域猫活動員へ腕章を交付する。その後、同活動員と情報交換等を行い、より実効性のある制度とするための要綱等の研究も行っていく。

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

コロナ禍の影響を受けた総合病院従事者並びに市職員に対する市の考え方について問う

阿部 悦博議員 (自民)

議員 ①病院従事者に対する「感染予防」、「待遇面」、「ストレスを抱えた方々への対応策」はどのようなことをしてきたか。
 ②今後懸念される「マンパワー不足」に対する考えはどうか。
 ③市庁舎、市施設の職員に対する

市長 ①公共施設を最大限活用し、医療機関や自主防災組織と一層の連携をしていく。自治会館開放も地域にお願いしていく。
 ②議会棟は、独立した施設構造であり、立地の面からも専用避難所として有力である。議会の意見も伺い、研究していきたい。
 ③会計年度任用職員の防災業務への任用については、今後課題を整理して、研究していきたい。
 ④公文書管理規則を令和3年4月の施行に向け、制定していく。
 ⑤市役所、市民センターに寄付箱を設置し、広報等で周知する。
 ⑥申請期限の延長を行い、所得認定基準の見直しについては前年1年間から直近3カ月に見直し、広報等で周知する。

議員 ①障がい者差別解消条例制定の決定の経緯について伺う。
 ②条例の施行までの課題を伺う。
 市長 ①自立支援協議会から意見を聴取するなどした結果、本市における障害者への理解を深め、差別をなくす取り組みをより一層推進するために、条例を

制定することを決め、本年2月定例議会の施政方針で表明した。②「東京都障害者への理解促進および差別解消の推進に関する条例」を基本としつつ、市の独自性をどのように規定するかを課題とする。障害者団体等の意見を集約し、自立支援協議会の部会で協議していく。来月4月1日の条例施行を予定している。

議員 地域猫制度決定への経緯および実施に至るまでの課題等と今後のスケジュールを伺う。
 市長 本年1月に「青梅市地域

猫活動の手引き(案)を策定し、各自治会からご意見を伺い、おむね理解していただいた。今後、それらの意見を踏まえ、「青梅市地域猫活動の手引き」を取りまとめ、市民に制度の理解を求めていく。7月には、同手引きを広報、自治会回覧等により周知し、10月を目途にモデル地区を選定し、地域猫制度を試行する。その際、市から地域猫活動員へ腕章を交付する。その後、同活動員と情報交換等を行い、より実効性のある制度とするための要綱等の研究も行っていく。

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

る取り組み、対応はどうか。
 ④医療従事者へ、市はどう対応し、感謝を表していくのか。
 病院事業管理者 ①全職員に出勤前の検温、マスクの着用、手指消毒の徹底、外出自粛を促す等の対策をした。待遇面では、危険手当の増額、看護師寮の貸し出し等を行った。ストレスへの対応では、精神科リエゾンチームによる相談体制を整備した。
 ②新型コロナウイルス感染症の影響による離職はなく、マンパワーの不足はなかったが、引き続き気を緩めることなく、院内感染の防止に努め、中核病院としての役割を果たしていきたい。
 市長 ③マスクの着用、検温、窓口へのビニールカーテン等の

設置、出勤者数削減等を行い、繁忙課への応援体制も整えた。市職員も一刻も早く市民の皆様へ安心を届けられるよう努力している。私が先頭に立ち、職員が丸となり立ち向かっていく。④直接的な給付は、国の動向を

見守り、情報収集していく。医療従事者をはじめ多くの職業の方が、懸命に努力されていることを認識し、他者を思いやる気持ちを共有できるように、ホームページ等を利用して、メッセージを発信していきたい。

議員 ①避難所、避難場所等での3密防止対策を伺う。民間施設や学校の教室等の活用は、

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市



ビニールカーテンが設置された1階窓口



地域猫制度実施について問う

議員 ①避難所、避難場所等での3密防止対策を伺う。民間施設や学校の教室等の活用は、

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

用語の解説

注1…保健避難所 (3ページ・結城議員)

熊本市が設置した、新型コロナウイルス感染症回復者や濃厚接触者が避難する専用の施設。ここでは市内各所の避難所に来られた、発熱、咳等の症状がある人が一時的に利用する青梅市としての施設を指す。

注2…地域猫制度 (3ページ・結城議員)

地域の住民等が主体となり、行政が協力・支援を行う中で、飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術を実施し、適切な餌やり、フン清掃など周辺美化にも配慮するなどし、飼い主のいない猫を減らしていく取り組みのこと。

注3…精神科リエゾンチーム (3ページ・阿部議員)

精神科医、精神看護専門看護師、臨床心理士といった複数の職種から構成されたチーム。さまざまな心理的問題に対してそれぞれの専門性を生かしたチーム医療を行う。

注4…瑕疵担保責任 (4ページ・ひだ議員)

売買物件に隠れた瑕疵(欠陥)があったときに売主が負う責任。売主は本来備わっている機能・品質・性能・状態になるように責任をもって補修、改修等しなければならない。

注5…暗騒音 (4ページ・ひだ議員)

ある特定の騒音に注目したとき、対象の音がないときの、その場所における騒音。

注6…次亜塩素酸水 (5ページ・みねざき議員)

塩酸または塩化ナトリウム水溶液を電解することで得られる次亜塩素酸が主成分の水溶液。一定以上の塩素濃度で新型コロナウイルスの除去に有効とされる。



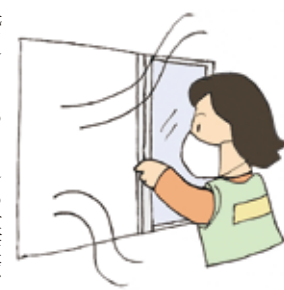
議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市

新型コロナウイルス感染症対策と自然災害対応について問う

天沼 明議員 (自民)

議員 ①避難場所、避難所、避難のあり方、公的な避難所以外への避難の考え方について伺う。
 ②避難所でのソーシャルディスタンスの確保と感染リスク低減への取り組みを伺う。
 ③新型コロナウイルス感染症と向き合う中で自然災害への対応について、市長の考えを伺う。
 市長 ①既定の施設や避難方法にとらわれず、幅広い視野から避難のあり方について考えなければならぬ。改めて自宅の安全確保等、自助、共助の行動が肝要と考えている。
 ②多くの施設の開設、換気の徹底等の基本的対策の実施、消毒液やマスク等の備蓄の拡充、市



新型コロナウイルス感染症 対策について問う

榎澤 誠 議員 (フォーラム)

議員 ①対策本部では施策決定に当たってどのような協議をしているのか。

- ②市の役割をどう考えているか。
- ③市民からの情報収集、その一元化をどのように行っているか。
- ④商店街や観光業等の事業者への支援策や各種計画の変更は。
- ⑤現時点での検証と今後についての市長の思いを伺う。

市長 ①庁内各部、市三師会等の関係機関で情報共有を図り、協議し、市主催イベントの開催の可否等について市の方針を決

高齢者支援対策について問う ~買い物支援、フレイル対策、見守り支援等~

片谷 洋夫 議員 (国民)

議員 ①高齢者への買い物支援策への市の考えを伺う。

- ②フレイル対策を早急に行う必要があると考えるが市の見解は。
- ③新型コロナウイルス感染症が再度拡大した場合の対策として、見守り体制の強化を図るべきと考えるが見解を伺う。

市長 ①特別交付金を活用し、今年度末までの時限的な事業として、新型コロナウイルス感

定している。②国の基本的対処方針に基づき、「感染拡大の抑制」、「住民への生活支援」、「住民相談」等、市行動計画で定めた対策を、的確かつ迅速に実施できるように、推進していくことである。



市内経済の活性化を図るため発行するプレミアム商品券

症により、外出などに不安を抱える75歳以上の高齢者の方を対象に「買い物代行支援事業」の実施を予定している。

- ②フレイル状態を改善するための一助になればと、広報おうちや市ホームページで梅っこ体操を紹介した。「新しい生活様式」の実践例を踏まえ、介護予防リーダー等とも連携して、フレイル予防に取り組んでいく。
- ③地域包括支援センターにおける訪問の早期再開とともに、民生委員、自治会の協力も得ながら、実態把握に努めていく。

新型コロナウイルスによる家庭への影響について問う

議員 ①家庭ごみの現状を伺う。

- ②繊維ごみの処理の状況はどうか。焼却処理はできないか。
- ③自治会で、支給の要件である年10回以上の資源回収を開催できなかった場合でも、特別報奨金を支給してはどうか。

券の発行等を実施し支援していく。中・長期的な施策は、事業者等の意見を聞き、コロナウイルス感染症の状況を注視し、必要に応じて協議していく。

新型コロナウイルス感染症に対応する医療体制の整備と市民への情報の発信について問う

井上 たかし 議員 (共産)

議員 ①市独自のPCR検査センターについて、5月になって

- ②リサイクル業者に売却後、東南アジア諸国へ輸出されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、流通が滞っており、排出抑制をお願いしている。市施設の空きスペースに保管することも検討している。焼却ではなく、世界の動向を注視しながら今後もリサイクルに努めていく。
- ③資源回収の自粛による地域団体への影響は、多大であるため既定の基準を厳格に適用するのではなく、柔軟な措置を検討していく。

新しい生活様式への取組について問う

議員 ①新しい生活様式の普及啓発への今後の取り組みを伺う。

国の制約が変わり、設置場所など市や関係機関の裁量で柔軟に運用できるようにしたのか。

- ②国や都へ、検査体制の増強、市独自の検査センターへの支援を求めざるを得ないか。
- ③医療用品の確保状況等、市内医療機関と情報共有、連携するべきではないか。
- ④発熱外来を設置するべきではないか。
- ⑤市ホームページ等で医療に関する情報は、他の情報とは分けず示してはどうか。

市長 ①5月に国等の方針の変化があり、柔軟に運用できるようになった。第2波に備え、実施場所や運営方法について、医師会等と協議している。

議員 ①新しい生活様式の普及啓発への今後の取り組みを伺う。

市内小中学校の校舎の外壁落下対策について問う

議員 ①小学校校舎の外壁落下

事故があり、他の学校も対応が必要である。大規模改修等を急ぐとともに、全校工事は時間がかかるため、現時点での各校の危険性を明らかにし、大至急学校ごとに対応すべきではないか。

- ②学校長等と状況をよく共有し、要望等を聞き取りして対応してほしいがどうか。
- ③教育長 ①今年1月に第一小学校の外壁の一部が落下したこともあり、緊急性が高いことは認識している。今後、各学校の改修工事をどう進めていくかが課題である。令和2年度中の策定を目指している青梅市学校施設個別計画では、今後の学校施設の改修方針や時期についても定める予定である。本年4月に外壁のはがれ等について目視によ

ひとり親家庭等への給付の上乗せを

ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①収入が激減している子育て家庭をどう認識しているか

- ②都の交付金を活用し、児童扶養手当受給世帯に給付の上乗せを考へるべきではないか。
- ③再び休校となった場合の食事を支援する取り組みは。
- ④準要保護世帯に給食がない期間の給食費相当額を支給しては
- ⑤今後の対策は他市の状況を見てからではなく、青梅市が率先

特別定額給付金支給の対応改善について問う

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①申請、給付、問い合わせ等の状況および課題を伺う。

- ②広報や自治会回覧等で周知徹底を何度でもすべきではないか
- ③高齢者等への申請の支援、申請漏れ防止への対応策を伺う。
- ④国や都へ自粛と補償はセットで拡充を求め、手続きも簡素にして取り組んでほしいがどうか。

市長 ①子育て家庭はもとより、市民全体の生活や経済活動へ支援が必要だと認識している。

するよう要請してほしいが。市長 ①6月5日までで、全世帯の69・5パーセントである4万4151件の申請があった。

- ②学校長や市の施設担当部門等とも話し合いながら、大規模改修前にどのような対策ができるか検討していきたい。
- ③総合相談窓口はどのような形を考へているのか。
- ④青梅市独自に中小企業等への家賃助成、教育・子育て支援等検討してほしいがどうか。

新型コロナウイルス感染症の総合相談窓口の設置、申請サポート体制等について問う

議員 ①市へどのような相談全戸配布した場合は見直しを

- ④全戸配布は重要なので、今後検討してほしいがどうか。
- 市長 ①新聞折り込み2万8300部、希望者への戸別配布5200部、その他公共施設等への補完措置5200部で、約2万7千世帯に配布されていない。
- ②給付金は詳細が未定だったことから、臨時号ではなく、5月15日の広報一面に掲載した。市ホームページでも周知に努めた。
- ③約4200万円となり、現状の約2・2倍となる。
- ④市域が広く、山間部等起伏が多いため、配布に日数を要することや経費が増すことが想定される。市としては、現在の配布方法を継続していく考えである。

議員 ①工事のやり直しについての

が寄せられているか。②困窮した時は、生活保護や社会福祉協議会の貸し付けや税の減免制度等の申請をするようもつと周知徹底すべきでは。

- ③総合相談窓口はどのような形を考へているのか。
- ④青梅市独自に中小企業等への家賃助成、教育・子育て支援等検討してほしいがどうか。
- 市長 ①生活困窮の相談が多く、専門の支援員が対応している。事業者からは国や都の給付金等の問い合わせが多く、国の窓口の紹介等、対応に努めている。
- ②ホームページ等で周知しているが、さらに徹底を図っていく。
- ③相談内容に合った支援制度、担当部署、関係機関等を案内できるようにインフォメーション窓口の設置準備を進めている。
- ④国や都の交付金を活用した市独自の支援策の補正予算案を本議会に提案している。引き続き特別委員会での議論も踏まえ、時機を逸することなく支援が実施できるように取り組んでいく。

程度の防音、遮音性能が確保されるのか。②今後の地下水対策は、瑕疵担保責任期間は2年か10年か。

議員 ①工事のやり直しについての

第2波流行に備えた医療体制整備について問う

ぬのや 和代 議員 (立憲)

議員 ①資金援助等、PCRセンターのさらなる拡充を図るべきと考えるが見解を伺う。

②市内で発生した孤独死男性高齢者は、PCR検査陽性であったが、患者数が前後で変化していないのはなぜか。

③PCR検査と抗体検査の併用について見解を伺う。

④症状が類似する新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐため、インフルエンザワクチン接種を市民にすすめてはどうか。

⑤防災無線を使用し、新型コロナ

ICTを活用した教育について問う

—新型コロナウイルス情勢下において—

大勢待 利明 議員 (フォーラム)

議員 ①学校運営の方向性について、ICTの活用等も含め、現状、課題を伺う。

②今後の方針を伺う。

教育長 ①休校期間中、各学校でメールやホームページを通し、保護者や児童、生徒に学習課題を示す、メールにより直接相談や質問を受け付ける等、さまざまな方法でICTを活用してき

ウイルス感染症の治療は国費で行われることなどを高齢者へ情報提供してはどうか。

市長 ①第2波に備え、市医師会、西多摩保健所と協議を行っている。

③それぞれの検査をどのように使い分け、陽性者の発見につなげるかが肝要であると考える。

④市医師会の見解では、新型コロナウイルス感染症に対しては、現在開発中の専用のワクチンの接種が必要となること、インフルエンザワクチンの新型コロナウイルス感染症への有用性は不明であることから、周知については考えていない。

⑤防災無線を使い、外出自粛を周知した。ゴールデンウィーク中には、私自ら呼びかけ、一定の効果があったと捉えている。高齢者へは、見守り支援の充実が重要であり、地域包括支援センターにおける訪問の早期再開とともに、民生委員等の協力も

た。パソコン等の端末や通信環境の整備がない家庭があること、保護者の協力が必要となること、学校で一度に多くのパソコンからの通信ができないこと、ICTの活用による不安を抱く教員がいること、情報モラル、情報セキュリティ問題等、解決すべき課題が多くあると認識している。

②今年度中に一人一台の端末と、高速大容量のネットワーク環境の整備を計画している。再度休校となった場合には、既存のタブレット端末の貸与等を検討している。今後は、教員の研修会の開催や、各学校に情報教育推進教員を指名し、ICTを活用した学習活動が推進できるよう努めていく。

市民の個人情報整理と事務作業の効率化について問う

議員 ①情報システムの仕組み、データの持ち方、データの利用

得ながら実態把握に努めていく。健康福祉部長 ①資金援助は国の動向を注視していく。

②市内の感染者数は東京都が公表しているが、詳細が分かった段階で公表するため、タイムラグが発生することである。

議員 「青梅市新型コロナウイルス対策による経済的支援について問う」

議員 ①青梅市新型コロナウイルス対策助成金(基金)を活用し、児童扶養手当の臨時特別給付を前倒しして支給できないか。

市長 基金を活用するには議会の議決が必要で一定の期間を要することや、国の給付金は基金に戻し入れできないことから、前倒し支給は考えていない。

「他の質問：保育園、幼稚園、小学校、学童保育所の休園、休業等について問う」

②家庭で生活する、免疫が低下している人や医療的ケアが必要な人に、消毒用アルコールが十分届いているのか。

市長 ①現在、研究機関で有用しやすさを今一度検討し、事務の効率化を図っては。②市民への情報の届け方を統一的にする等、市内での事務の効率化を検討してはどうか。



新型コロナウイルス感染症に対応した消毒について問う

議員 ①紫外線殺菌灯を小・中学校のトイレへ取り入れることや、市内飲食店へ設置を呼び掛けることへの市の考えを伺う。

②家庭で生活する、免疫が低下している人や医療的ケアが必要な人に、消毒用アルコールが十分届いているのか。

市長 ①現在、研究機関で有用しやすさを今一度検討し、事務の効率化を図っては。②市民への情報の届け方を統一的にする等、市内での事務の効率化を検討してはどうか。

市長 ①基幹系業務システムのデータベースを基に、他の業務システムと情報連携が取れる仕組みを構築し、効率化を図っている。複雑な要件でない限り、プログラムを改修せず、対象者の抽出等ができ、各業務で利用しやすい環境を整備している。

②ICTの活用も図りつつ、市からの情報発信や市民からの申請手続き等について、わかりやすく、利便向上が図れるよう創意工夫に努めていく。

青梅市の情報収集と情報発信の体制について問う

議員 ①現状と課題を伺う。

性を検証中であることから、今後、研究していく。

②4月初旬、ケアを必要とする児童がいる家庭に対し、厚生労働省から東京都を通じて、消毒用エタノールジェルを配布した。

議員 自治会の行事や役に立つ取り組みを市のホームページ等で広く知らせはどうか。

市長 広報おうめを「自治会活動紹介コーナー」を毎月掲載し、自治会未加入世帯の方々にも周知している。また、自治会連合会との協働事業として、「自治会ハンドブック」および「自治会・支会活動事例集」を発行し、市と自治会連合会それぞれのホームページでも公開している。市のホームページについては、現在、新ホームページへの切替えに伴う掲載内容の再確認を行っている。他自治体や民間事業者の手法等を参考にしながら、市民が必要としている情報を的確に、より早く発信できるよう努めていく。

自治会の取組を広く知らせることについて問う

みねざき 拓実 議員 (共産)

議員 自治会の行事や役に立つ取り組みを市のホームページ等で広く知らせはどうか。

市長 広報おうめを「自治会活動紹介コーナー」を毎月掲載し、自治会未加入世帯の方々にも周知している。また、自治会連合会との協働事業として、「自治会ハンドブック」および「自治会・支会活動事例集」を発行し、市と自治会連合会それぞれのホームページでも公開している。市のホームページについては、現在、新ホームページへの切替えに伴う掲載内容の再確認を行っている。他自治体や民間事業者の手法等を参考にしながら、市民が必要としている情報を的確に、より早く発信できるよう努めていく。

②今後の改善について伺う。

市長 ①情報収集では、市民への手紙、懇談会等のほか、各部署で直接意見等を伺い、市内で共有している。市民からの生の声や、各メディアが発信する最新情報に常に注意を払うことが肝要と考えている。情報発信では、広報、ホームページ、公式ツイッター等を活用し、幅広い年齢層へ分かりやすい情報提供に努めているが、ツイッターのフォロワー数は伸び悩んでおり、各ツールにおける発信量を含め、市民が必要とする情報をタイムリーに、より魅力ある形で発信する必要があると考えている。

②情報収集では、有用・有益な情報を逃すことがないよう心掛けるとともに、情報発信では、

避難所などにおける次亜塩素酸水の活用について問う

議員 ①除菌電解水給水器で生成した次亜塩素酸水を避難所等の公共施設で活用してはどうか。

②体育館や地下空間でエアロゾル感染を避けるための対策は。

③除菌電解水給水器を買い足し、全ての市民センター等で次亜塩素酸水を配布してはどうか。

市長 ①企業から御寄付いただいた除菌電解水給水器を市役所と4カ所の市民センターに配置し、医療機関や、福祉、教育関連の事業者にも配布し、除菌対策に活用していただいている。

②体育館についてはスポーツ庁から、ネットたまごセンター等の施設については(公社)全

他自治体や民間事業者の手法等を参考にしながら、市民が必要としている情報を的確に、より早く発信できるよう努めていく。

女性活躍社会の推進について問う

野島 資雄 議員 (公明)

議員 ①特別定額給付金の市内消費への誘導策を伺う。

②女性が活躍する、医療機関、保育施設、介護施設等への支援を伺う。

③特に子育て世帯をターゲットに、在宅勤務支援都市「青梅」として移住を勧める、女性職員も参画したプロジェクトチーム

国公民館連合会から、それぞれガイドラインが示されており、これらを参考に利用ガイドラインの作成を進めている。

④市民センターで、配布を試行している。今後については実施結果を踏まえ、検証していく。

市長 ①国保税は見込みの申告に基づき判断する。後期高齢者医療保険料についても広域連合では同様の取り扱いをするとのことである。周知についてはホームページや、納税通知書等に案内を同封する。介護保険料は、今後市の方針を決定し、広報おうめや市ホームページ等で周知していく。

②新たな財政赤字の要因となることから考えていない。

③国で、感染の疑いで帰国者・接触者外来を受診する際は、資格証明書を被保険者証とみなして取り扱うことが示されているため、交付する考えはない。

④諸施策の企画立案の際に、各部署の女性職員の関与を一層進め、女性ならではの視点を生かした施策展開ができるよう取り組む。経営会議や幹部会議で、検討過程について紹介する等、効果的な成果につながるよう努めていく。

議員 ①国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免に

を作ってはどうか。

④経営会議は全員男性だが、女性の視点からの提案、意見等が十分に反映されているのか。

市長 ①プレミアム商品券等の活用により市内消費を図り、地域の活性化につなげたい。

②各事業者へ市が備蓄していたマスクや寄付いただいたマスクを配布し、保育施設等へは消毒用品や空気清浄機等の購入に対し補助金を交付している。今後、事業者の声を聴きながら、迅速に対応していく。



除菌電解水給水器

新型コロナウイルス感染症の影響による国保税などの減免について問う

議員 ①国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免に

を作ってはどうか。

④経営会議は全員男性だが、女性の視点からの提案、意見等が十分に反映されているのか。

市長 ①プレミアム商品券等の活用により市内消費を図り、地域の活性化につなげたい。

②各事業者へ市が備蓄していたマスクや寄付いただいたマスクを配布し、保育施設等へは消毒用品や空気清浄機等の購入に対し補助金を交付している。今後、事業者の声を聴きながら、迅速に対応していく。

③青梅の豊かな自然や都心からの距離は、テレワークやサテライトオフィス等の新しい働き方に適していると認識している。

積極的なPR、青梅商工会議所等とも連携を図った試行的な実施について、具体的な取り組みを進めるとともに、チームの設置について検討していく。

に係る被保険者の収入の考え方と減免制度の周知について伺う。

②今年度値上げした国保税を戻すことや、市独自の減免制度を新設する考えは。

③国保の資格証明書発行世帯に短期被保険者証を交付しては。市長 ①国保税は見込みの申告に基づき判断する。後期高齢者医療保険料についても広域連合では同様の取り扱いをするとのことである。周知についてはホームページや、納税通知書等に案内を同封する。介護保険料は、今後市の方針を決定し、広報おうめや市ホームページ等で周知していく。



に係る被保険者の収入の考え方と減免制度の周知について伺う。②今年度値上げした国保税を戻すことや、市独自の減免制度を新設する考えは。③国保の資格証明書発行世帯に短期被保険者証を交付しては。市長 ①国保税は見込みの申告に基づき判断する。後期高齢者医療保険料についても広域連合では同様の取り扱いをするとのことである。周知についてはホームページや、納税通知書等に案内を同封する。介護保険料は、今後市の方針を決定し、広報おうめや市ホームページ等で周知していく。②新たな財政赤字の要因となることから考えていない。③国で、感染の疑いで帰国者・接触者外来を受診する際は、資格証明書を被保険者証とみなして取り扱うことが示されているため、交付する考えはない。④諸施策の企画立案の際に、各部署の女性職員の関与を一層進め、女性ならではの視点を生かした施策展開ができるよう取り組む。経営会議や幹部会議で、検討過程について紹介する等、効果的な成果につながるよう努めていく。

審議された議案と議決結果

[○…賛成、×…反対]

Table with columns for district (区), proposal number (議案番号), proposal name (議案件名), decision result (議決結果), and 24 council members (寺島和成 to 下田盛俊). Rows are categorized by meeting type: 5月招集議会 (Mayor's proposals and Council member proposals) and 6月定例議会 (Mayor's proposals).

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属8人、自民党3人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅(無所属2人、国民民主党1人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオンプズマン(1人)、立憲…立憲民主党(1人)] ※氏名の上の番号は、議席番号です。



特別委員会から
東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
◆第7回委員会(6月15日)
◆第1回委員会(5月15日)
◆第2回委員会(5月26日)
◆第3回委員会(6月17日)
新型コロナウイルス対策事業(案)について等

贈らない 求めない 受け取らない
政治家、有権者の方々へ
政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。
6月17日に開催された全員協議会から
6月17日に開催された全員協議会での市長提出事項は次のとおりです。

令和2年市議会定例会9月定例議会会議予定
Table with columns: 月日(曜日), 時間, 会議, 備考. Includes dates from 9月1日 to 9月29日.

